事業に関わるマテリアリティ

エンハーツ®とダトロウェイ®の新規適応症取得など、革新的な医薬品を継続的に創出。高品質な情報提供・安定供給・医療アクセスの拡大を通じ、世界中の患者さんへの価値提供を着実に推進。

革新的な医薬品の創出

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	①創出する経済的価値 ②創出する社会的価値
❶ 3ADC：8適応上市 （第5期中期経営計画期間中における新規適応症として）	❶ 第5期中期経営計画期間中における新規適応症として10適応上市 ＜参考情報：2025年度の承認状況＞ **エンハーツ®** ・化学療法未治療のHER2低発現乳がんまたはHER2超低発現乳がん承認（日：2025年8月） ・HER2陽性乳がん一次治療承認（米：2025年12月） ・HER2陽性早期乳がんの術前療法承認（中：2026年3月） **ダトロウェイ®** ・EGFR遺伝子変異を有する非小細胞肺がん承認（米：2025年6月）	① 将来の売上収益・利益につながる研究開発パイプラインの拡充、知的財産の獲得 ② 世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献
❷ 3ADCに次ぐ成長ドライバーとなる製品が、後期開発段階以上に複数ある	❷ ・I-DXd進展型小細胞肺がん「画期的治療薬」指定（米：2025年8月） ・R-DXdプラチナ製剤抵抗性卵巣がん等「画期的治療薬」指定（米：2025年9月） ・DS-3939複数の固形がん(Ph1/2) 試験 結果発表（2025年10月）	
❸ 開発段階にポストDXd-ADCとなりうるモダリティがある	❸ ・DS3610（STINGアゴニストADC）Ph1試験開始（2025年11月） ・DS9051（標的タンパク分解誘導剤）Ph1試験開始（2025年11月）	
❹ 優先審査制度への指定数 ※1（実績累計件数で集計）	❹ 2025年度 23件（2023年度からの累計51件）	

高品質な医薬品の安定供給

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	①創出する経済的価値 ②創出する社会的価値
ADC生産体制構築や高品質な医薬品の患者さんへの安定的供給に向けた自社設備投資およびCMO投資：最大3,000億円	需要予測に対応し、供給能力を拡大 （2025年度 約60億円、2021年度からの累計 約4,630億円の投資を意思決定 ※2）	① 売上収益・利益の拡大、企業価値毀損リスクの低減／回避 ② 世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献

※1 2023年度に新規設定
※2 2023年までの累計投資金額を再計算

事業に関わるマテリアリティ

エンハーツ®とダトロウェイ®の新規適応症取得など、革新的な医薬品を継続的に創出。高品質な情報提供・安定供給・医療アクセスの拡大を通じ、世界中の患者さんへの価値提供を着実に推進。

高品質な医療情報の提供

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	① 創出する経済的価値 ② 創出する社会的価値
医療関係者をはじめとするステークホルダーからの、当社の情報提供姿勢に対する評価の向上	・ジャパンビジネスユニット MR：医師総合評価1位 ・製品情報センター：薬剤師評価2位 ※3	① 売上収益・利益の拡大、企業価値毀損リスクの低減／回避 ② 世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献

医療アクセスの拡大

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	① 創出する経済的価値 ② 創出する社会的価値
❶ パートナーとの協働等を通じた、がん製品の上市国・地域数の拡大 ❷ 各国当局、他社等との協働による新規リスクへの当社の取り組みによる貢献として、アストラゼネカ社の新型コロナウイルスワクチン（AZD-1222）の計画通りの供給達成、DS-5670の計画通りの開発進捗	❶ エンハーツ上市国・地域：99カ国・地域 、2025年度新規展開30カ国・地域、提供患者数 約 155,000人 ※4 ❷ ダイチロナ® 2024年度までにKPI目標値を達成 ＜参考情報＞ オミクロン株JN.1対応mRNAワクチン発売（日：2024年9月） オミクロン株XBB.1.5対応一価ワクチン:140万回分の供給完了（日：2023年12月）	① 売上収益・利益の拡大、企業価値毀損リスクの低減／回避 ② 世界中の人々の健康で豊かな生活への貢献

※3 MR（医薬情報担当者）：インテージヘルスケア、調査月：2024年8月、製品情報センター：トランスコスモス社・日本総合研究所、調査月：2024年11月
※4 「総販売量」から「患者１人が1年間必要とする使用量」を除して推計

事業基盤に関わるマテリアリティ

環境経営・コンプライアンス・ガバナンス・人材活躍の各領域で、
KPI目標値をおおむね達成し、事業基盤を強化。
一部項目では課題を認識しており、継続的な改善を図る。

環境経営の推進

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	①創出する経済的価値 ②創出する社会的価値
❶ CO_2排出量（Scope1+Scope2 ※5） 2015年度比42%減	❶ 2015年度比48.5%減（104,509t-CO_2 ※6）	① 環境経営に対する取り組み評価による企業価値の向上（企業価値毀損リスクの低減／回避）
❷ CO_2排出量（Scope3、カテゴリ1 ※5） 2020年度比売上高原単位15%減、1.5°C水準目標を70%以上（調達額）のビジネスパートナーが設定 ※1	❷ 2020年度比13.7%減(166.4t-CO_2/億円) 1.5°C水準の目標を設定しているビジネスパートナー：58.5%	② 脱炭素社会の早期実現、海洋プラスチック問題改善、環境汚染防止等による持続可能な生活基盤構築への貢献
❸ 再生可能電力利用率60%以上	❸ 79.7% ※6	
❹ 廃プラスチックリサイクル率70%以上を維持	❹ 79.6% ※6	
❺ 有害廃棄物排出量2020年度比10%減	❺ 2020年度比32.8%減（3,769t ※6）	

コンプライアンス経営の推進

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	①創出する経済的価値 ②創出する社会的価値
❶ 重大なコンプライアンス違反 ※7 0件	❶ 0件	① 当社ブランドへの信頼性向上による企業価値の向上（企業価値毀損リスク）
❷ 留意すべきコード違反 ※8 0件	❷ 2件	
❸ 企業風土に関する従業員調査スコアの向上	❸ 肯定的回答率93%（2021年度スコアより9pt向上）	② 製薬業界全体の信頼の維持・向上、サステナブル調達を通じた社会全体のコンプライアンス向上
❹「DSグループ個人行動規範」研修の実施率（社数） ※9 90%	❹ 90%以上	
❺サステナブル調査調達先カバー率（全調達額に占める割合）75%	❺ 53%	
❻ サステナブル調達推進に向けた社内外での教育・研修強化および実績の開示	❻ 2025年度までに環境・健康経営をテーマに社外研修を2回実施	
❼ グループ内人権リスクアセスメントの結果、ILO中核的労働基準※10の抵触事例なし	❼ ILO中核的労働基準の抵触事例なし	
❽ ビジネスパートナーにおけるILO中核的労働基準に関するリスク軽減の取り組み結果の実績開示	❽ コーポレートウェブサイト等でリスク軽減の取り組み結果を開示	

※1 2023年度に新規設定
※5 Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼）。Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出。Scope3：左記以外のその他間接排出量全てで、カテゴリ１は、原材料・部品・容器などが製造されるまでの活動に伴う排出

※6 第三者保証対象
※7 関連法規制において第一三共グループとして対外的な開示が必要とされる、国内外グループ会社で発生したコンプライアンス違反

※8 規制当局および業界団体による医療関連の指摘があり、第一三共グループの信用を著しく低下させる可能性のある事案
※9 2025年度に新規設定。グループ会社の社数ベース、計画に対しての遂行率を集計
※10 結社の自由・団体交渉権の承認、強制労働の禁止、児童労働の禁止、差別の撤廃、安全で健康的な労働環境

事業基盤に関わるマテリアリティ

環境経営・コンプライアンス・ガバナンス・人材活躍の各領域で、
KPI目標値をおおむね達成し、事業基盤を強化。
一部項目では課題を認識しており、継続的な改善を図る。

企業理念の実現に向けたコーポレートガバナンス

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	①創出する経済的価値 ②創出する社会的価値
❶ 改訂コーポレートガバナンス・コードの各原則の100%遵守	❶ 改訂コーポレートガバナンス・コードを100%遵守	① 会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上
❷ 取締役会評価の実施と評価結果に基づく改善施策への取り組み（定期的に2025年度までに第三者機関による評価を2回実施）	❷ ・2024年度取締役会評価を踏まえた重点施策を実施 ・2025年度取締役会評価を自己評価で実施 ・新たに社内取締役2名・社外取締役2名が就任し、取締役の多様性が強化	② 本業を通じて提供できる価値の総体、株主・投資家を中心としたステークホルダーの期待に応える透明性の高い経営の実現
❸ 監査機能の実効性の継続的な評価と向上	❸ ・2025年度重点項目を含むリスク重視の面談を実施 ・自己評価による2025年度監査役会実効性評価を実施	
❹ ステークホルダーの理解向上に資する各種媒体を通じた情報開示の充実・透明性向上	❹ ・各種媒体におけるコーポレートガバナンスに関する情報開示を充実 ・2025年11月にサステナビリティ意見交換会を開催し、社外取締役2名が登壇	

競争力と優位性を生み出す多様な人材の活躍推進と育成

2025年度までのKPI目標値	2025年度実績	①創出する経済的価値 ②創出する社会的価値
❶ 女性上級幹部社員比率 ※11 30%	❶ 26.9%（前年比+2.7pt）	① 事業活動を支える人材力強化による企業価値の向上
❷ 企業風土・職場環境に関するエンゲージメントサーベイ肯定的回答率80%以上もしくは2021年度比10%向上	❷ 肯定的回答率77%（2021年度：75%、2021年度比+2.6%）	② 人材の多様性、人権尊重、人材育成
❸ 育成・成長機会に関するエンゲージメントサーベイを通じた肯定的回答率80%以上もしくは2021年度比10%向上	❸ 肯定的回答率78%（2021年度：68%、2021年度比+14.7%）	
❹ 社員一人あたりの教育投資額の実績値の公表	❹ 226,536円（前年比+19,106円）	

※11 部所長あるいはそれと同等以上の役職にある女性社員。2020年度よりグループ会社における上級幹部社員の定義を変更

事業に関わるマテリアリティ　KPIと実績

<項目>

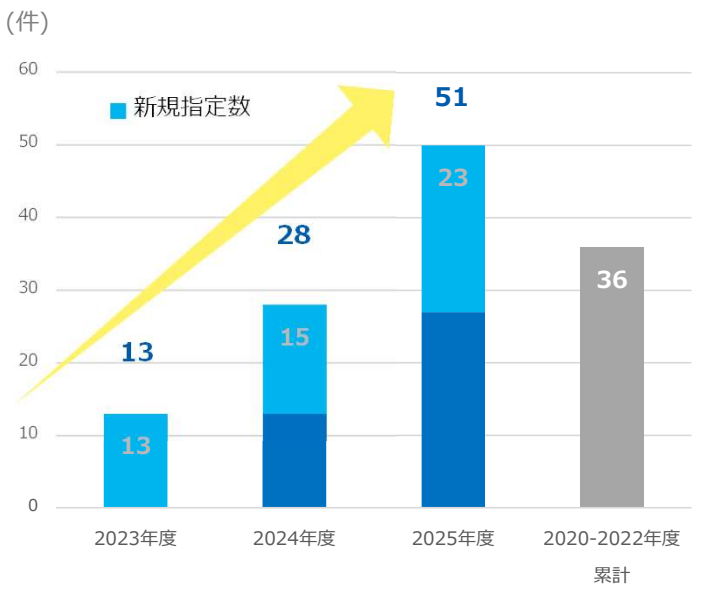
革新的な医薬品の創出

2025年度までのKPI目標値：

優先審査制度への指定数

2023-2025年度の累積値を
2020-2022年度の累積値と比較

実績



2025年度指定数

23件

2023年度以降の指定数

51件

事業に関わるマテリアリティ　KPIと実績

<項目>

高品質な医薬品の安定供給

2025年度までのKPI目標値：

ADC生産体制構築や高品質な医薬品の患者さんへの安定的供給に向けた自社設備投資およびCMO投資：

最大3,000億円

実績

供給能力の拡大

需要予測に対応し、供給能力を拡大
2021年度から **累計 約4,630億円**の投資を意思決定



事業に関わるマテリアリティ　KPIと実績

<項目>

高品質な医療情報の提供

2025年度までのKPI目標値：

医療関係者をはじめとするステークホルダーからの、
当社の情報提供姿勢に対する評価の向上

実績

ジャパンビジネスユニット

第1位

MR部門※
医師総合評価

第2位

製品情報センター部門※
薬剤師評価

※ MR（医薬情報担当者）：インテージヘルスケア、調査月：2024年8月
※ 製品情報センター：トランスコスモス社・日本総合研究所、調査月：2024年11月

事業に関わるマテリアリティ　KPIと実績

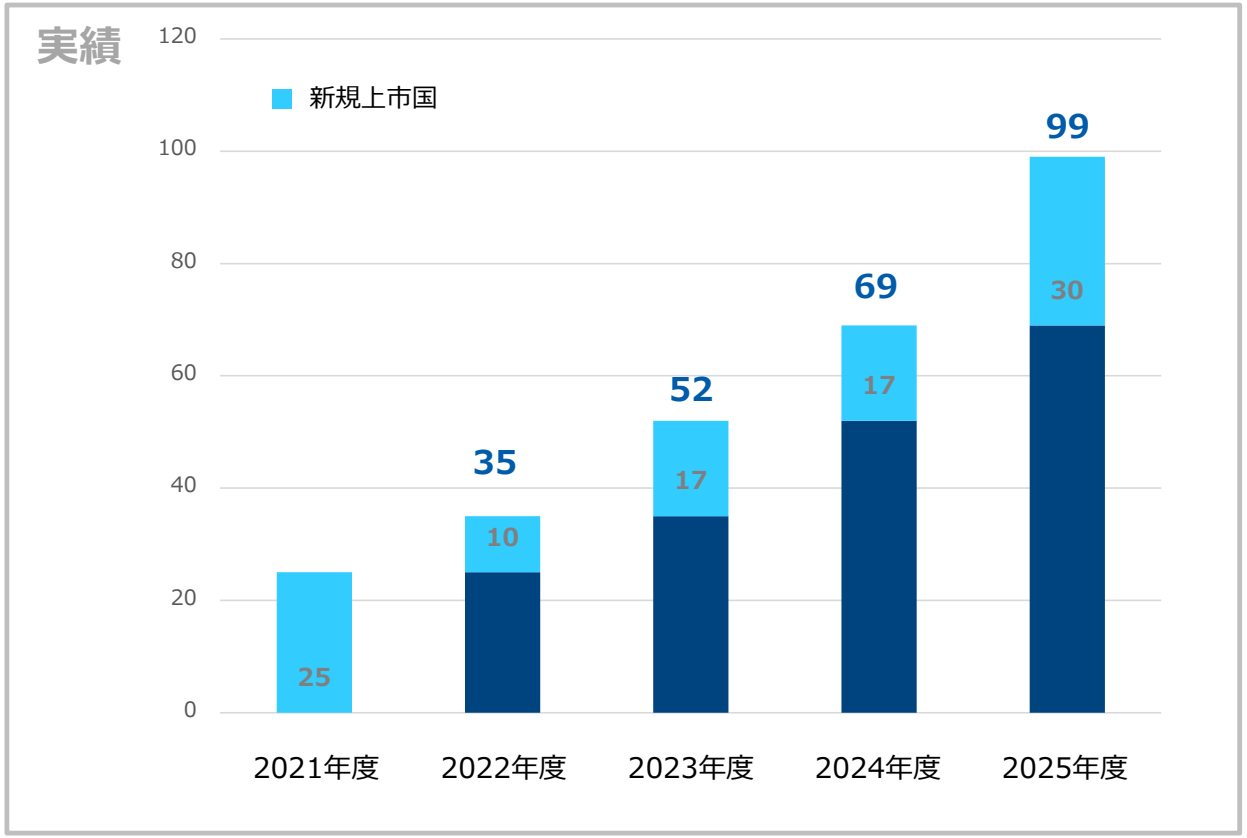
<項目>

医療アクセスの拡大

2025年度までのKPI目標値：

がん製品の上市国・地域数の拡大

エンハーツ上市国・地域



事業に関わるマテリアリティ　KPIと実績

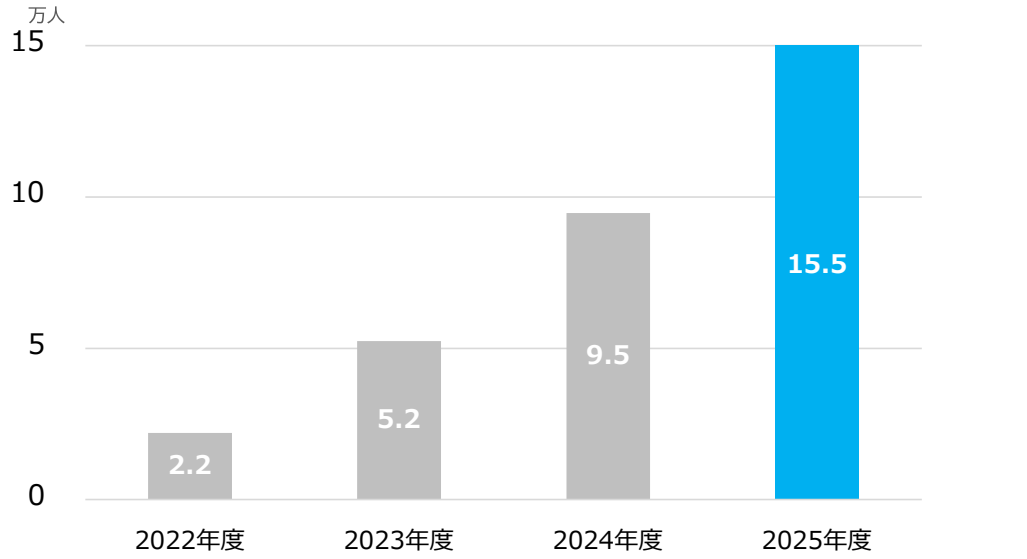
<項目>

医療アクセスの拡大

2025年度までのKPI目標値：

エンハーツ提供
推定患者さん数（万人）

実績



※「総販売量」から「患者１人が1年間必要とする使用量」を除して推計

事業基盤に関わるマテリアリティ　KPIと実績

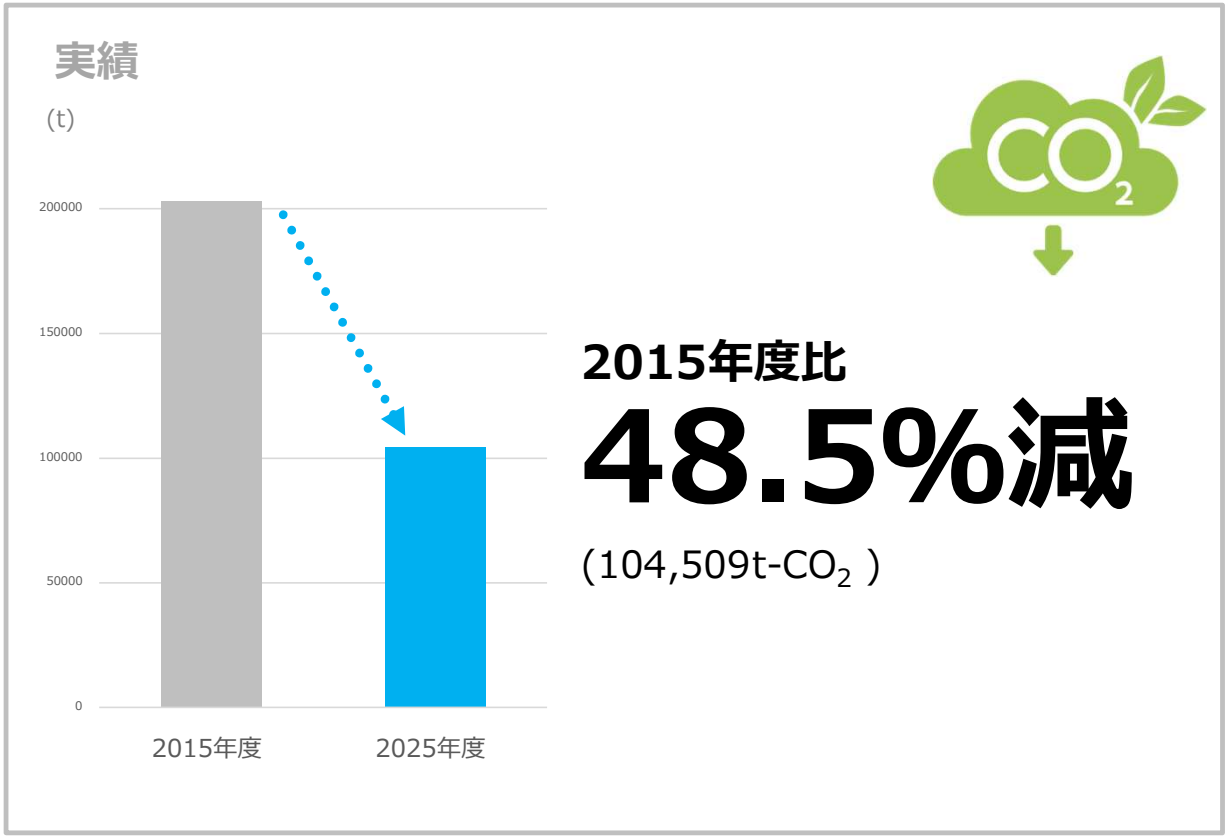
<項目>

環境経営の推進

2025年度までのKPI目標値：

CO_2排出量(Scope1+Scope2)※1

2015年度比42%減



※1　Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼）。
Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出。
Scope3：左記以外のその他間接排出量全てで、カテゴリ１は、
原材料・部品・容器などが製 造されるまでの活動に伴う排出

事業基盤に関わるマテリアリティ　KPIと実績

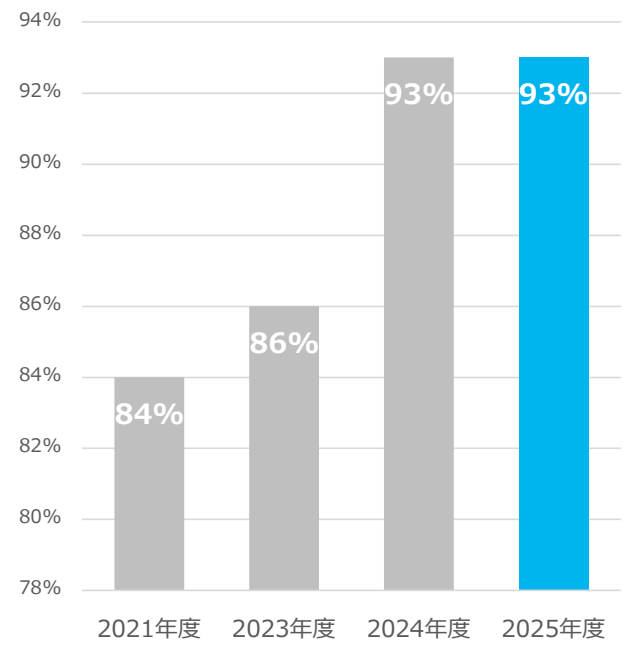
<項目>

コンプライアンス経営の推進

2025年度までのKPI目標値：

企業風土に関する従業員調査スコアの向上

実績



肯定的回答率

93%

(2021年度スコアより9pt向上)



事業基盤に関わるマテリアリティ　KPIと実績

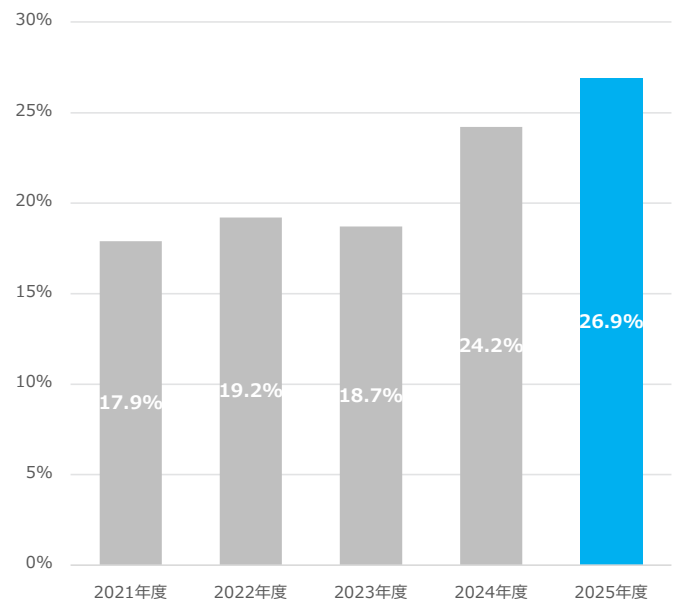
<項目>

競争力と優位性を生み出す多様な人材の活躍推進と育成

2025年度までのKPI目標値：

女性上級幹部社員比率
30%

実績



26.9%

(前年比+2.7pt)



※上級幹部:部所長或いはそれと同等以上の役職にある女性社員
2020年度よりグループ会社における上級幹部社員の定義を変更

事業基盤に関わるマテリアリティ　KPIと実績

<項目>

競争力と優位性を生み出す多様な人材の活躍推進と育成

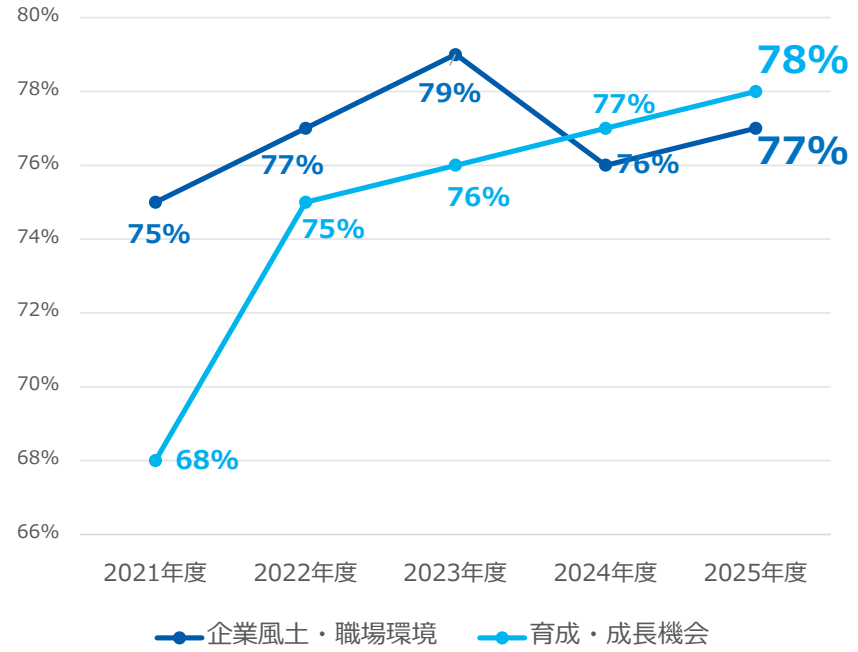
2025年度までのKPI目標値 01:

企業風土・職場環境に関するエンゲージメント
サーベイ肯定的回答率**80%以上**
もしくは2021年度比**10%向上**

2025年度までのKPI目標値 02:

育成・成長機会に関するエンゲージメント
サーベイ肯定的回答率**80%以上**
もしくは2021年度比**10%向上**

実績



KPI 01:
未達成

KPI 02:
2021年度比
14%向上